

 <h2 style="text-align: center;">協働の機会提案書(アイデア提案用)</h2> <p style="text-align: right;">H28年 9月 26日</p> <p>印西市長 板倉正直 様</p> <p style="text-align: right;">(登録者) 登録番号 28-002 名称 勇気づけサークルでこぼこピース 所在地 印西市西の原 代表者職氏名 代表 北村倫子 連絡先</p> <p>企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。</p>	
提案事業名	アドラー心理学による「勇気づけコミュニケーション」のすすめ
現状・課題 (指定テーマ型の場合 はテーマ名のみ記入)	男女共同参画に関わる啓発事業の実施
提案理由	男女共同参画社会の最小単位は家庭である。夫婦が尊敬しあい、認めあい、よりよい関係を築くことは、子どもの成長にも影響を与える。「人生の困難なことのはほとんどは対人関係の中にある」とするアドラー心理学を知ることは、男女を問わず一人ひとりの個性と能力を発揮することを目的とする男女共同参画啓発講座の素材に適していると考えます。
提案内容 (予算の概算も記入)	子育て世代は、夫婦の在り方が子どもにも影響を与えるため、特に自己肯定感の大切さを知ることが必要である。そこで今回は外部講師による講演会『アドラー心理学による勇気づけのすすめ』を1回と内部講師による『勇気づけ講座』を2時間半×2回の連続講座を2回開講。予算は約15万円
貴団体の特性、協働 で実施するメリット (提案者が事業実施できる能 力や有利なアピールポイント)	勇気づけでこぼこピースは、2013年6月より毎月1回(8月は除く)勇気づけ勉強会を開催し、2016年7月までに延べ152名が参加。専門的知識を持つ講師とのパイプもあり、新たな視点での講座内容を提供することができる。
事業実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)	家庭内における固定的性別役割分担意識の解消につながる。 自己肯定感を上げ、一人ひとりの人権と多様な生き方を尊重するためのきっかけをつくる。 男女共同参画に関する問題に対して解決につながる気づきを得る。

(提案書 様式②)

協働事業計画書			
事業名	アドラー心理学による「勇気づけコミュニケーションのすすめ」		
事業の目的	自己肯定感を上げ、男女にかかわらず個性や能力を尊重することで一人ひとりの人権と多様な生き方を認めていききっかけをつくる。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 男女共同参画の推進 (部署名) 市民活動推進課		
事業期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	<事業の企画・運営、講師選定> * 子育て中の方、子どもとの関わりに興味のある方対象 ・講演会(外部講師) ・「勇気づけ ELM 講座」 2時間半×2回の連続講座を2回 募集人数…各20名 ・フォローアップ会…講座参加者限定	<参加者の募集・取りまとめ・その他の調整> ・広報掲載、HP ・チラシ配布…公共施設、小学校、幼保育園 ・会場確保、日程調整 ・消耗品の提供 ・アンケート作成	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	18,000円	118,000円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	外部講師(アドラーシニアカウンセラー)1名と内部講師(ELMトレーナー)2名、ボランティア、市の協力により講演会と講座を企画運営する。		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	・当団体が事業を担うことによる認知が拡大。 ・団体の目的である「自分を知り、人によりよい関係をつくるための啓発」の推進。	・男女共同参画に関する意識の向上。 ・家族の在り方を見直し、個々が自己肯定感を育むきっかけとなる。	・市民の男女共同参画に関する意識の向上 ・新たな視点での講座内容により、男女共同参画に関する参加者の増加。
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	メール、対面により、随時意見交換		
事業の周知や評価の方法	周知方法は、印西市 HP、広報紙、地域紙に掲載。公共施設、学校へチラシ配布。 評価方法は、参加者へのアンケートによる。		
備考	関係団体等		
	その他(添付書類等)		

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費 (無償分を含む) 金 149,600 円

市から団体への委託費 (金 118,000 円)

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費、報償費、旅費、印刷製本費、	118,000
その他収入		
提案者負担分	消耗品、食糧費	18,000
無償労働力等換算金額		(13,600)
合 計 (無償分を含めない)		136,000
無償分を含めた合計額		(149,600)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	講座運営 2.5 時間×2,000 円×4 回×2 人=40,000	40,000
報償費	講師謝礼	50,000
旅費	講師交通費	4,000
印刷製本費	・講演会チラシ (A4 色紙 250 枚入り 250 円×40=10,000 円) ・講座チラシ (A4 色紙 250 枚入り 250 円×40=10,000 円) ・講座資料(100 円×40 部=4000 円)	24,000
消耗品	講演会場費(花、他会場作り)	8,000
食糧費	外部講師お弁当、講座お茶菓子代	10,000
提案者が負担する 無償労働力	850 円×2時間×8 人=13,600 円	(13,600)
提案者が負担する 無償機材等	〇〇〇円×〇〇日=〇〇〇円	(円)
合 計 (無償分を含めない)		136,000 円
無償分を含めた合計額		(149,600)

(提案書 様式④)

年間事業スケジュール

実施予定日	活動内容	必要経費	参加人数
H29年6月 ～8月	・講演会『アドラー心理学による勇気づけのすすめ』(仮題)	72,500円	80人
H29年10月下旬 ～11月	・『勇気づけ講座』1回目	61,500円	20人
H30年1月	2回目		20人
H30年2月	・フォローアップ会	2,000円	40人 (参加希望者)

印西市企画提案型協働事業実施報告書

印西市長 板倉正直 様

平成30年2月5日

住 所 印西市西の原

報告者名 勇気づけサークルでこぼこピース

代表者名 北村 倫子

以下のとおり講座を実施いたしましたので、ご報告いたします。

講座名	～自分を勇気づける～「幸せのみかた講座」	
実施日時	土日コース	平日コース
	①平成29年10月28日(土) ② 11月 4日(土) 10時～12時30分	① 平成29年11月28日(火) ② 12月 5日(火) 10時～12時30分
受講者数	① 16人 ② 15人	① 16人 ② 16人
会場	市民活動支援センター活動室	
講師名	北村倫子、伊藤智代(ヒューマン・ギルド認定 ELM トレーナー)	
広報の方法	広報いんざい ホームページ 地域誌 チラシ・ポスター(市内小中学校・公民館・コミュニティーセンター・図書館)	
講座内容 (テキストは ヒューマン・ギ ルドの「ELM」 使用)	① *さまざまな見方、考え方の存在を意識する *聴き上手になる *感情と上手につきあう ② *目的を意識する *物事を前向きに考える *勇気づけをする	
受講者への フォローの方策	*講座終了後アンケート実施 *次回講座の予定案内	
講座の反省等	・キャンセル待ちの方がいたにもかかわらず、当日連絡なく休む方もいたので、参加者には欠席の際は必ず連絡をしていただくようにしっかりと伝える必要があったかもしれない。 ・土日コース、平日コース共に男性の参加は各1名だった。男性の参加も望みたいのでチラシに工夫が必要かもしれない。	

	・フォローアップ講座の申し込みをアンケートに組み込んだが記入時点で参加希望が15名あり、講座に対しての関心の高さを感じた。
備考	参加者アンケートについては別紙参照

講座名	「フォローアップ講座」
実施日時	平成30年1月20日(土) 10:00~12:00
受講者数	11名(「幸せのみかた講座」参加者からの希望者)
会場	市民活動支援センター活動室
講師名	北村倫子、伊藤智代(ヒューマン・ギルド認定ELMトレーナー)
広報の方法	「幸せのみかた講座」にて配布
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> * 「幸せのみかた講座」振り返り * 「自分のスタイルを明確にする」(ELMより)
受講者へのフォローの方策	<ul style="list-style-type: none"> * 講座終了後アンケート実施 * 次回有料講座(勇気づけでこぼこピース主催)の予定案内
講座の反省等	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込みは17名であったが実際には11名の参加であった。特に土曜コースは3ヶ月の間があったので5名の欠席となったのかもしれない。 ・参加者はフォローアップ講座までに実践していたので振り返りのシェアもでき、学んだことが身につけていた人もいたのでやってよかったと思う。 ・12章あるELMのうち7章分の講座だった。まだ学びたいという声に応じて、有料ではあるが残りの5章分の講座をすることにした。
備考	参加者アンケートについては別紙参照

『幸せのみかた講座』アンケート・感想より抜粋

*この講座を知ったのは？

1. 広報いんざい(13名)
2. 学校・園のチラシ(16名)
3. 公共施設のポスター・チラシ(2名)
4. 地域のミニコミ紙(3名)
5. その他(2名 前回の講演会に参加され案内を送付)

*この講座に参加したいと思ったのはなぜですか？

1. テーマにひかれて(36名)
2. 友人・知人に勧められて(4名)
3. その他(1名)

*この講座に参加してみてもいかがでしたか？

1. 参考になった(32名)
2. あまり参考にならなかった(1名)
3. どちらともいえない(0名)
4. 自分の思ったのとは違う内容だった(0名)
5. その他(・子ども達に学校で学んでほしい・とても楽しい時間でした
・わかっちゃいるけどできなかったことを再認識させてもらった)

*1月20日に「フォローアップ講座」を行います。参加されますか？

1. 申し込みをする(参加を希望される方は下記にご記入ください) 15名
2. 申し込みをしない(6名)
3. 今すぐ回答できない(12名)

*今後、男女共同参画講座として企画してほしい講座はありますか？また、具体的な講師名があれば教えてください。

〔 節約、貯金などに関するマネー講座 ・親業、魔法の言葉がけ ・コーチングまたは同様のもの ・今回の講座を夫婦対象として別々の日にすると効果的 〕

*あなたの年代を教えてください

1. 10～20歳代(0名)
2. 30歳代(4名)
3. 40歳代(17名)
4. 50歳代(0名)
5. 60歳代(8名)
6. 70歳代以上(1名)

*感想

- ・座学で聴くだけかと思っていたが、ワークシートを使って他の皆さんと一緒に考えていくことができ、とても理解できてよかった。
- ・アドラー心理学に大変関心があり、参加しました。今後も引き続き講座を開いてほしいです。
- ・大変楽しく学ばさせていただきました。
- ・何歳になっても人との関わりは続くものです。心豊かに暮らせるよう、人を思いやりながら毎日を暮らしたいと思います。

- ・とても良かった。本で読んではいしたが、シェアする、書いて読み上げるがよかった。
- ・とても興味深い内容でした。心が軽くなった。
- ・心理学の初歩の初歩だったので物足りない。アドラーは欧米では心理学の中心ですが私は初めてでした。うわすべりの感じが強い。社会人大学で学んでみようと思う。
- ・本当に励まされた。来てよかった。
- ・参加して本当によかった。実践するのみですね。
- ・参加してみているいろんな発見があり、参加してよかった。
- ・大変勉強になった。これからも定期的に学ぶことを続けたい。
- ・大変素晴らしい講座でした。想像以上の充実した内容、学べる楽しさ、喜びを改めて実感した。
- ・より広く、いろいろな方におすすめしたい講座です。
- ・わかりやすい言葉やグループワークを通して自分を見つめる機会ができ、明るい気持ちになりました。
- ・学びの場であるのに、自分自身が癒されたことが一番うれしかったです。
- ・目からウロコだらけだった。物の見方が優しくなった。
- ・今後も本講座を断続的に開催すると良いと思う。

『フォローアップ講座』アンケート・感想より抜粋

* フォローアップ講座に参加してみているかがでしたか？

①参考になった(11名) ②あまり参考にならなかった(0名) ③どちらともいえない(0名)

* 感想

- ・また発見があり、さらに学んでみたいです。
- ・今、自分を見つめ直すきっかけができ、とても良かったです。
- ・大変役に立ちました。コミュニケーションをとるのが上手になれた気がします。
- ・定期的な勉強会(時として無料だと嬉しいです)を開いていただけると嬉しいです。時として忘れてしまったり、一回だけでは自分の物にできなかつたりするので。
- ・とても内容のある講座なので、毎年継続して、できるだけたくさんの人々が受講できるように検討してほしい。夫婦別々の受講するとより効果的と思う。
- ・自分のライフスタイルの気づきがあり、勇気づけにより、自分をかえていくという大きなものを得た。
- ・生きづらさ、悩みなど皆さんと話したりするうち、もっと楽しんでいいんだ、もっと自分を認めていいんだと思えるようになりました。
- ・自分自身の考え方を再認識することができました。実践することの大切さを感じています。
- ・乳幼児のいる方も託児の設置などでもっと気軽に参加できるのではないかと。

事業実施報告書

報告日：平成29年6月3日

下記のとおり報告いたします。

実施事業名	男女共同参画講演会 『しあわせ家族の作り方』 ～勇気づけコミュニケーションのすすめ～
開催日時・場所	日時：平成29年6月3日（土）13：30～15：30 場所：文化ホール 多目的室
講師	鶴田恵美子氏（一般社団法人 日本支援助言士協会理事長）
参加者	63名（アンケート回収 57名）
内 容	
<p>（講演内容）</p> <p>人生の困難なことのほとんどは「対人関係」のなかにあるというところから、家族に焦点を当て、困難を克服する活力を与える「勇気づけ」について学ぶ。</p> <p>家族という最小単位の中で、お互いの尊敬と信頼、お互いの自立（精神的な自立）を大切にしながら民主的な家族を作っていくことが、社会の中でもより良い人間関係を築くための基礎となる。相手の良いところに目を向け、加点法で見ていくことで、コミュニケーションが良好になることをワークで学ぶ。</p> <p>（反省・課題）</p> <p>当日キャンセルが予想より多かった。前半に予約された方のキャンセルが目立った。次回はチラシをまく時期を検討。</p>	

